

田代岳「欧州の視点で読み解くマーケット」 更新日：4月26日



米系のシティバンク、英系のスタンダード・チャータード銀行と外資系銀行にて、20年以上、外国為替ディーラーとして活躍。その後、独立し現在は投資情報配信を主業務とする株式会社 ADVANCE 代表取締役。

ECB 理事会でのポイント

本日の ECB 理事会では、フォワード・ガイダンスの変更はないと思われますが、どこまで声明とドラギ総裁の会見がタカハトに触れるかのファジーな判断となるでしょう。

現状声明文におけるガイダンスは、

- 1、政策金利に関するガイダンス：理事会は政策金利が現状水準で長期間、資産購入を終了後も相当期間（well past）維持されると予想
- 2、資産買い入れに関するガイダンス：インフレが物価目標と整合的な経路へと持続的に調整するまで QE を続ける。（QE と物価を連動）3月の理事会で『もし悪化すれば QE の規模と期間を拡大する用意がある（緩和バイアス）』は削除
- 3、再投資に関するガイダンス：QE 終了後も長期間、必要な限り再投資する

現状この3つのガイダンスがありますが、今回はこれらの変更は予想されていません。

3月の議事要旨から分かったことは、貿易摩擦と保護主義に対する懸念を表明する一方で、QE 終了の条件であるインフレが目標に向かって持続的に調整していると判断する基準が満たされていると、インフレに対する自信もうかがわれています。

またユーロ高にもかかわらず物価の機軸は安定と述べています。

このようにあまりハトにもタカにも傾いていなかったのですが、フォワード・ガイダンスの更なる変更を一部に期待していた投資家にとってはハト派的と受け止められたのでしょう。

今後の動きとしては10月まで月額300億ユーロの QE を10月以降どのようにするのかという道筋を6月か、遅くとも7月までに決めなければなりません。これに向かってヒントがどれだけ出てくるのかがポイントになります。

このヒントが10月以降の QE の終了が段階的なのかどうか、早い終了であればタカ派的、遅ければハト派的とみなされるでしょう。

今回の理事会で、そこいらへんのヒントが出てくればユーロドルは反発する可能性があります、何も示されなかったり、マーケットが考えているよりハト派的であれば 1.21 付近を下抜けして

下落する可能性が高いでしょう。

サクソバンクグループの 25 日深夜のポジションはショートが上回っています。

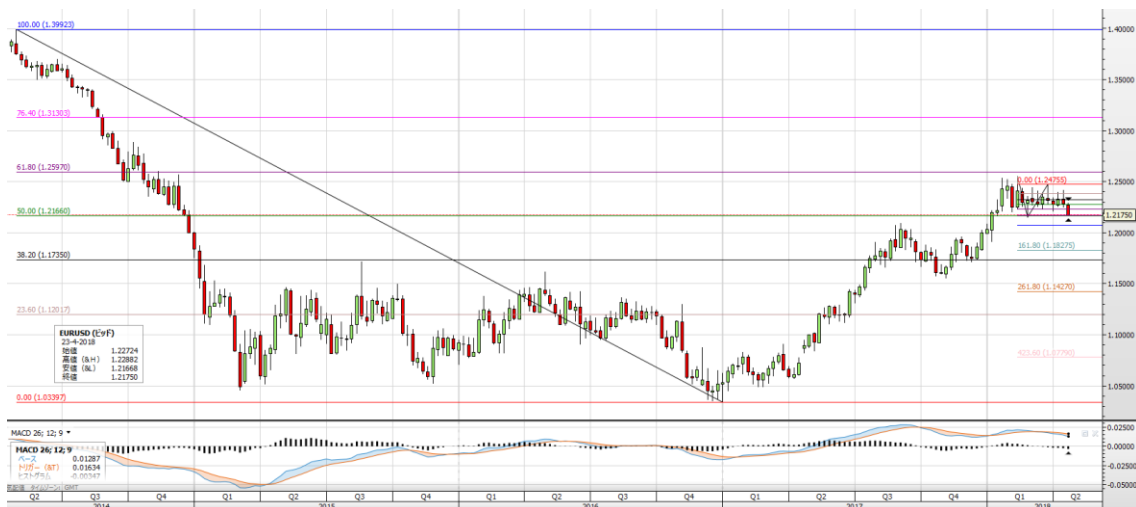


ATM VOLATILITIES

Pair	Spot	1w	1m	3m	6m	9m	1y
EURUSD	1.2187 (-0.20%)	7.25 (+0.5)	7 (+0.3)	7.02 (+0.22)	7.16 (+0.16)	7.17 (+0.07)	7.25 (+0.05)
USDJPY	109.19 (0.30%)	7.51 (+0.61)	7.25 (-0.08)	7.73 (+0.05)	8.07 (+0.05)	8.35 (+0.06)	8.51 (+0.09)
GBPUSD	1.3945 (-0.09%)	7.25 (0)	8 (+0.05)	7.95 (+0.05)	8.15 (0)	8.3 (+0.05)	8.4 (0)
AUDUSD	0.7564 (-0.62%)	7.96 (+0.32)	7.8 (+0.16)	7.96 (+0.02)	8.33 (+0.04)	8.54 (-0.02)	8.76 (-0.02)
USDCAD	1.2887 (0.38%)	7.03 (+0.19)	6.76 (-0.04)	7.01 (-0.03)	7.13 (-0.01)	7.27 (0)	7.35 (+0.05)
USDCHF	0.9833 (0.55%)	6.81 (+0.64)	6.75 (+0.05)	6.97 (+0.09)	7.33 (+0.06)	7.53 (+0.05)	7.68 (+0.04)
EURJPY	133.07 (0.10%)	7.6 (+0.17)	6.9 (-0.15)	7.67 (+0.06)	8.13 (0)	8.43 (0)	8.61 (-0.1)
EURGBP	0.8739 (-0.11%)	6.75 (+0.35)	6.62 (-0.03)	6.58 (0)	6.83 (0)	7 (0)	7.12 (0)
EURCHF	1.1984 (0.36%)	4.37 (-0.03)	4.44 (-0.06)	4.84 (-0.01)	5.18 (-0.05)	5.4 (-0.05)	5.55 (-0.05)
XAUUSD	1319.97 (-0.39%)	9.7 (+0.25)	10.25 (+0.25)	10.68 (+0.05)	11.35 (+0.04)	11.9 (0)	12.37 (0)
XAGUSD	16.5315 (-0.45%)	16.5 (-0.2)	17.23 (-0.17)	17.88 (-0.02)	18.65 (+0.15)	19 (+0.1)	19.35 (+0.05)

25 日のロンドン正午のオプションマーケットです。ユーロドルのボラティリティは 1 週間もの 7.25%と 0.5%の上昇、イベントを控えてややボラティリティが上昇しています。

ユーロドル週足です



1.2150~60 は 120 日移動平均線、1.3992（2014 年 5 月高値）～1.0340（2017 年 1 月安値）の 50%戻し、2018 年 1 月以降の安値と重要サポートが目白押しです。

ただ 1.21 は上昇前に 2 度止められているので 1.21～1.2150 のゾーンが重要なサポートと考えています。

ここをサポートすれば 1.2150～1.2550 継続。

下抜けした場合は 1.1830 付近（今回の高値の 1.2554 起点のフィボナッチ・エクспанション

1.618 倍)、抜ければ節目の 1.15、1.1430（今回の高値の 1.2554 起点のフィボナッチ・エクspansion 2.618 倍）と考えています。

【本レポートについてのご注意】

■本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。

■本レポートは、作成時点において執筆者およびサクソバンク証券（以下「当社」といいます。）が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、執筆者および当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、予告なしに変更することがあります。

■本レポート内で示される意見は執筆者によるものであり、当社の考えを反映するものではありません。また、これらはあくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。

■お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行ってください。本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、執筆者および当社は責任を負いません。

■本レポートの全部か一部かを問わず、無断での転用、複製、再配信、ウェブサイトへの投稿や掲載等を行うことはできません。